



# 町長日誌

## No.223

町長日誌の第 223 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

### 5月13日 (金曜日)

今年は花の期間が長かったように思う桜の季節も終わり、替わってスモモやチューリップ等の花が新緑の牧草や木々に映えてひと際美しく咲き乱れています。酪農の丘のスイセンも本当にきれいに咲き、12日の道新オホーツク版でも取り上げて頂きました。毛ガニ漁も今年は順調で漁組さんの即売会も大好評だったようです。今月末には北興・豊野の公共牧場に農家から数百頭の若牛が半年間預けられ牧草だけで大きく育ちます。これを「入牧(にゅうぼく)」と呼んでいます。牧草地を走り回る牛たちの姿を見ると私は「今年も良い季節になったなあ」と思うのです。

### 4月21日 (木曜日)

全道には市が35、129の町と15の村、合わせて179自治体があります。市は独自に全道市長会を構成し、144の町村は全道町村会を作り協力して国や北海道に対して政策提言・予算要望などの活動をしています。この歴史は古く1922(大正11)年に「北海道町村長会」として始まり現在の「北海道町村会」となり今年百周年を迎えました。これまでに、町村から市に発展した自治体や合併により消えた町村等様々ですが、北海道の隅々まで国や道の政策や公共福祉が行き届くため町村長が連携し情報を共有し、団結して事に当たってきたことは大きな力になったことと考えます。しかし、鉄道の廃止、過疎化、脱炭素など課題は今も昔も沢山あります。今日の円安や燃油の高騰など経済問題などは一つの町で解決することは不可能です。これからも北海道町村会を中心に力を合わせ、町づくりを進めていきたいと考えています。

### 5月11日 (水曜日)

北海道財務局北見出張所の「財政状況ヒアリング結果報告」がありました。何のこっちゃ?と思われるでしょうね。簡単に言いますと「町のお金のやり繰りがちゃんと出来ているか?の審査結果発表会」なのです。私が町長に就任した平成15年当時は借金が多く貯金がほとんど無い!という状況で、町民の皆さんの活動補助削減、職員給与や私の報酬カットなど様々な節約を10年間行い借金は半減、貯金は20数億円までにすることが出来、厳しいながら病院・中学校の建設や公共施設などの修繕、産業への支援などを行えるまでになりました。しかし、もともと貯金の少ない町でしたので、新たなことに取り組みば通常必要な費用の捻出に困ることもありますし、施設を建てれば15年ぐらいは償還を続けなければなりませんので、財政担当者のやり繰りはとても大変なのです。しかし、彼らの頑張りにより財務局からは「問題の無い財政状況です!」とお褒めの言葉を頂きました。これからも工夫をしながらやり繰りしてまいります。

5月後半は出張が続きます。来年度の予算や事業の要望活動が始まります。15日からは「春の行楽期の交通安全運動」が始まりますが、午後になると役場の前をランドセルに新しい交通安全の黄色いカバーを掛けた小学生が寄り道しながら家に帰っていきます。この子たちの笑顔は町の宝物です。風邪をひかず、コロナに負けないですくすくと成長してください。では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。